

指定管理者制度導入施設評価票

評価対象年度	令和 4 年度		
施設名	秋田県中央地区老人福祉総合エリア	設置年	平成 9 年
所在地	秋田県秋田市御所野下堤 5丁目 1-1		
指定管理者	社会福祉法人秋田県社会福祉事業団		
県所管課	長寿社会	課	調整・長寿社会推進 チーム

1 施設の概要

設置目的	利用者一人一人が、豊かで安らぎのある自分らしいライフステージを築けるようサポートするとともに、地域・世代間交流、健康増進、生きがいがづくりの拠点として、多様なサービスを提供します。					
県の施策上の施設の位置付け	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における、当該施設の位置付け・目標 なし					
	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における目標を達成するための取組として、当該施設に求められているもの なし					
施設の面積	敷地面積166,746.60㎡、延床面積9,344.55㎡					
主な設置施設	屋内運動広場、プール、会議室、浴室等					
指定管理業務の内容	料金制	○(有)利用料金併用制・完全利用料金制) 無(指定管理料制)				
	料金設定					
	サウンディング実施対象施設※	○	←○、×を記入			
	指定期間	R3. 4. 1	～	R8. 3. 31		
	営業期間・時間	休館日/毎週月曜日 開館時間/午前9時～				
	①使用の許可、使用許可の取り消し並びに使用の制限及び停止に関する業務 ②施設及び設備の維持管理に関する業務 ③施設の利用を通じた高齢者の健康増進、生きがいの創出及びレクリエーションの機会の提供に関する業務					
自主事業の内容	①健康増進事業、②親子体験教室、③エリア感謝祭、④作品展示コーナーの提供、⑤広報活動 ⑥各種定期教室 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、ふれあい農園での世代間交流活動など、一部中止した事業もあります。					
直近3年の年間利用者数	R 2	100,698 人	R 3	92,585 人	R 4	77,355 人
直近3年の年間料金収入	R 2	32,734 千円	R 3	29,881 千円	R 4	26,605 千円
直近5年の収支決算(単位:千円)		H 3 0	R 元	R 2	R 3	R 4
収入計		163,559	157,712	156,052	151,822	131,248
利用料収入		49,300	45,135	32,734	29,881	26,605
指定管理料		112,353	110,699	122,797	121,059	104,559
その他収入		1,906	1,878	521	882	84
支出計		159,117	162,422	149,864	146,789	133,854
人件費		61,322	62,712	61,724	57,045	49,491
人件費以外		97,795	99,710	88,140	89,744	84,363
差引		4,442	▲ 4,710	6,188	5,033	▲ 2,606

※単年度維持管理・運営費が1億円以上の公募施設について、民間事業者の意見を参考に運営手法や公募要件を検討するため、指定期間終了の2～3年前にサウンディング(官民対話)を実施する。

2 観点ごとの評価

(観点I) 施設の設置目的(施設の目指す姿)の達成に関する取組

【ポイント】

施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための取組がなされ、その効果があったか。

○指定期間における運営方針・施設の利用目標

※協定書に記載した運営方針・施設の利用目標を記載
(R6年度以降に指定管理を開始・更新する施設から基本協定書に定めることとなっているため、それまでは記載不要)

○目標の設定(毎年度、県と指定管理者が協議の上、業務計画書に定める目標)

令和4年度 の目標	利用者数 158,400人
--------------	---------------

○指定管理者による実績報告

直近3年 の実績	年度	R元年度	R2年度	R3年度
	目標	166,700	168,500	156,000
	実績	157,124	100,698	92,585
	達成率	94.3%	59.8%	59.3%
令和4年度 の実績	実績	77,355	達成率	48.8%
	具体的な 取組と その効果	コロナにより保留していたイベント再開：各種教室 5月～感謝祭 11月無料体験会等を実施。「健康づくり教室」関連が盛況 PR：「エリアだより」の定期発行(市内サービスセンタ、御所野町内各戸) サービス向上：新規「宿泊アンケート」を実施。フィードバックにつなげた設備等の維持管理：自主・保守点検を実施。事故の未然防止に努めた。		
令和5年度 の目標 (設定根拠)	目標	利用者数 75,510名		
	設定根拠	令和4年度実績(77,355)をベースとして、プール休止継続、コロナ影響が残ることや旅行支援等が無くなることを想定して設定した。		

※指標が複数ある場合は欄を適宜追加すること。

(観点I) の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	C	プールの休止が利用者の減に大きく影響した。保留にしていた「感謝祭」についてはコロナ対策を実施しながら規模縮小ながらも再開。同じく中止していた各種教室も再開。無料体験を実施し「健康づくり教室」関連好評を得たが、令和4年度の半ばまでコロナ対策で自粛を継続したため目標達成に及ばなかった。
県 (所管課)	C	各種自主事業の開催により利用者の増加を目指したが、屋内温水プールの休止に伴い目標達成には及ばなかったものとする。令和4年度は目標値を見直した上で、引き続き利用者の増加に努めていただきたい。	

【評価基準】次の基準により評価。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

また、施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための、指定期間における運営方針・施設の利用目標について、指定期間開始年度から評価対象年度までの達成状況をコメント欄に記載すること。

A：目標達成(数値目標の場合は100%以上)

B：A及びC以外

C：目標達成に向けて改善が必要(数値目標の場合は80%未満)

（観点Ⅱ）施設の有効性（利用者の満足度）の向上に関する取組

【ポイント】

サービスの質を維持・向上するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

利用者満足度の状況 (直近3年)	R元年度	R2年度	R3年度	
	79%	89%	82%	
令和4年度の実績	実績	83%		
	具体的な取組とその効果	従来の来場者入口や構内設置のアンケートに加え、新たに「宿泊アンケート」を実施。意見の吸上げとフィードバックに務めた。		

（観点Ⅱ）の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
		指定管理者	A
	県(所管課)	A	利用者満足度は高水準を維持しており、利用者からのご意見に対してきめ細かく対応できていると評価する。

【評価基準】次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A：満足度80%以上 B：A及びC以外 C：満足度60%未満

（観点Ⅲ）効率性の向上等に関する取組

（1）経費の低減

【ポイント】

施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和4年度の実績	経費の低減実績	経費は、プールの使用無しに加え冬季事務部門エアコン故障となるも、前年度比93%に留まった。特に電気料は、使用量が65%となるも、料金は95%と電気料金の値上げの影響が大きくなっている。
	具体的な取組とその効果	電気料金の値上げが予想されたため他の経費の節約に努めたが、大幅な削減はできなかった。

※費用の総額では効果が計れない場合は、例えば利用者1人当たりの単価を算出する方法等も考えられる。

（2）収入の増加 ※指定管理料制施設を除く

【ポイント】

収入を増加するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和4年度の実績	収入の増加実績	利用料収入は、前年度比89%（改修中のプールを除いた場合、前年度比15%増加）。
	具体的な取組とその効果	総入場者数前年比では84%となるも、新型コロナウイルス感染症対策段階的緩和の他「秋田を旅しよう」キャンペーンの効果により各々事業単独で休憩者数は108%、宿泊では223%となり、改修により利用停止中のプールを除いた場合の全体の入場者数は前年比108%となった。

(観点Ⅲ) の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	C	経費低減に取り組んだものの電気料金の値上げの影響が大きく使用量見合いの削減をすることは出来なかった。 一方収入は宿泊利用者数が223%、休憩が108%と前年比大きく伸びたがプールの落ち込みをカバーするには至らなかった。
	県 (所管課)	C	経費については電気料金の値上げの影響を大きく受けているが、屋内温水プールの休止に伴い利用収入も減少しているため、来年度は収入の改善に向けて取り組んでいただきたい。

【評価基準】 次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A：(1) 経費の低減、(2) 収入の増加とも前年比で5%以上改善

B：A、C以外

C：(1) 経費の低減、(2) 収入の増加とも前年比で5%以上悪化

(観点Ⅳ) 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組

【ポイント】

施設の管理運営(指定管理業務)の適切な実施に向けた具体的な取組がなされ、その効果があったか

○指定管理者による実績報告

令和4年度 の実績	<p>運営方針に基づき、コロナで停滞していた集客の取組を状況をみながら再開。コロナにより保留していたイベント再開：・各種教室 5月～・感謝祭 11月無料体験会等を実施。「健康づくり教室」関連が盛況。 PR：「エリアだより」の定期発行(市内サービスセンタ、御所野町内各戸) サービス向上：新規「宿泊アンケート」を実施。フィードバックにつなげた。 設備等の維持管理：自主・保守点検を実施。事故の未然防止に努めた。</p> <p>また幅広い層の方への運動の場の提供の一貫として、3月末より自由利用の卓球台の設置開始に加え、令和4年度中に令和5年度4月からの屋内運動広場の無料貸出に向けて準備を進め、4月より貸出を開始した。</p>
--------------	--

(観点Ⅳ) の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	B	コロナ感染状況を注視し独自の感染対策指標を設定。屋内温水プール閉鎖状態にあり100%の集客環境に無いが、制約のある中で利用される皆様にとって気軽に来館・御利用頂ける施策を提案活況を取り戻しつつある。
	県 (所管課)	B	指定管理業務については、実績報告のとおり適正に実施されている。

【評価基準】 A：順調(改善点なし)、B：概ね順調(重大な問題点なし)、C：改善が必要(重大な問題点あり)

県(所管課)の評価においては、モニタリング結果を踏まえて評価を行う。

【県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方】

※全施設記載

○県の施策の達成状況 (施設を運営することで、県の施策がどの程度達成されたか等) 地域・世代間交流や生きがいつくりの拠点として、子どもからお年寄りまで様々な年齢層に利用されており、利用者の健康増進及び生きがいつくりの創出に寄与している。
○施設運営の課題 建設から26年が経過し、施設の老朽化が課題となっている。
○今後の方向性 (県の施策の達成状況や課題を踏まえて、今後所管課としてどのように対応していくか等) 新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、基本的感染対策を実施しながら平時と同様のサービスを提供し、利用者の増加を目指す。また、施設の修繕については、優先順位をつけながら必要な修繕が実施できるように努める。

【外部有識者委員会による評価（提言）】

※外部有識者委員会の評価対象となる約20施設について記載

評価（提言）
○施設の管理運営状況について (（観点Ⅰ）～（観点Ⅳ）に対するコメントを記載)
○県の施策達成に向けた施設運営について (県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方を踏まえてコメントを記載)

【外部有識者委員会による評価（提言）を踏まえた今後の対応方針】

今後の対応方針
指定管理者 (施設の管理運営等について今後の対応方針を記載)
県所管課 (県の施策達成に向けた施設運営等について今後の対応方針を記載)